

現在と将来の 自分見つめて

久慈東高で講演会

NPO法人北いわて
未来ラボ（安田玲美理

これまでの作品紹介を踏まえ、生徒たちにアドバイスを送る津山竜治さん



事長）は4日、久慈市門前の久慈東高（金沢広利校長、生徒610人）で、空間デザイン

「津山竜治さん(45)」東京出身の講演会を開いた。生徒たちは津山さんが手掛けた仕事の話やワークショップを通し、自分自身の今と将来を見つめた。

3年生209人が受講。津山さんは高校時代、デザイナーの故石岡瑛子さんの作品集に出合っって強烈な憧れを抱いた自身の体験を紹

介した。

2005年の愛知万博（愛・地球博）では会場デザインに携わり、支柱や布などを再利用できるモニュメントを考案した経験から

「先のストーリーを描きながら仕事をするこ

とで、一人前のプロになれる」と生徒たちにアドバイスを送った。講演後は大切なものや場所、故郷の魅力などを書き込むシートを使い、現在と10年後を考えるワークショップを行った。山崎万里奈さんは「難しかったけれど、将来の自分を見つめるために重要だと思った」と振り返った。